

北海之光

10月号 北海道教区報

ハレルヤ 新しい歌を
主に向かって歌え
詩編 149 編 1 節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
日本聖公会北海道教区事務所
電話 011-717-8181
FAX 011-736-8377
E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp
http://www.nssk-hokkaido.jp
発行人 笹森田鶴

「愛の教習所」

札幌聖ミカエル教会牧師
聖マーガレット教会協働司祭
司祭 コルベ 下澤 昌

「知識は人を高ぶらせるの
に対して、愛は人を造り上げ
ます」 (一コリント八・二)

これから洗礼を受ける成人
の方が、あれこれ悩んだ末に
教名を決める様子は、いつも
感動的です。すでに教名が決
まっていた幼児洗礼の方々に
は恐縮ですが、教名を決める
ということは、神さまとの関
係の中で、緊張感を持って信
仰の鍛錬を始めようとする意
思の表れでもあります。

私の場合、当初はバプテスマ
のヨハネの予定でしたが、
野性的なヨハネに比べると当
時の私はあまりにもシテイ
ボーイだったため、友人たち
から「やめたほうがよい」と
勧告を受け、考えた末に決め
たのがマキシミアノ・マリ
ア・コルベでした。やたらと
長い名前なので普段はコルベ

とだけ書いています。コルベ
神父は、私が洗礼を受けた
一九八二年にローマ・カト
リック教会の聖人に列聖され
ています。
コンヴェンツアル・フラ
ンシスコ会の修道士として、
一九三〇年から二年ほど長崎
に滞在し、その後、母国ポー
ランドの修道院に戻りまし
た。当時、ナチス・ドイツが
ヨーロッパ各地に侵攻し、ユ
ダヤ人を中心に取り締まりを
強化していました。一九四一
年、コルベ神父はナチスに対
して批判的な文書を発行した
嫌疑により、他の四人の修道
士と共に逮捕され、アウシュ
ビッツ強制収容所に送られま
す。七月末、脱走者が出たこ
とで一〇名が餓死刑に処せら
れることになりました。選ば
れた人の中に、死の宣告を受
けて激しく動揺する人がいた

ため、コルベ神父は自分が代
わりに刑を受けることを申し
出、許可されました。こうし
て八月一日、飢餓室で息を
引き取ります。

さて、私がコルベ神父のお
名前をいただいたのは、自分
は絶対にこんな人にはなれな
いと思いつつ、いつも心の片
隅にいた人だからでした。時
が経つにつれ、ではコルベ神
父は最初から聖人になるよう
な完璧な人だったのかという
疑問も浮かびました。人間で
ある以上、破れや失敗も数
多くあったはずですよ。むし
ろ、長い時間をかけて、破れ
や失敗を糧にして、人を、そ
して神を愛する仕方を学んだ
のではないのか。その積み重
ねが最後の最後に強制収容所
での出来事を生んだものではな
いか。歴史に記されるような
大きな愛の行為は、ある日突
然できるものではなく、それ
までの小さな愛の積み重ねが
あってこそ可能なのではない
でしょうか。

私の好きな本に、『信徒の
ための神学ABC』という古
い本があり、「教会は愛の教
習所」という一節があります。
この本は私に大きな影響を与
えました。何事も初心者と熟
練者がいるように、神と人を
愛することに於いても、時間
のかかる「教習」が必要な
のです。クリスチャンになつた
からといって、いきなり神と
人を充分に愛せるようにはな
りません。車の免許を取るの
に教習が必要なように、神と
人を愛すること、共に生きる
こと、社会の中で小さくされ
た人々の痛みを心で寄せるよ
うになるためには、やはり学
び教習が必要なのです。そ
してまさに、教会こそ、その
場所だということです。長い教
習過程には失敗や試練が数え
切れないほどあるでしょう。
しかし、そこから学んで、あ
きらめず、少しずつ熟練して
いくしかないのです。そのこ
とをいま、改めて自分に言い
聞かせています。十字架によ
って究極の愛を成し遂げた
イエスは、そんな私たちの姿
を優しく見守ってくださいに
違いありません。

—心の窓をひらく—

福音と私(二六三)



—今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか—

聖マーガレット教会信徒

アグネス 木村 登美子



【初めて出会った聖句】

主よ ひとみの如く我を守り給え

(祈祷書 詩編一七篇八節)

繋がるマーガレット教会

私は松山郡厚沢部町で二六歳まで神棚、仏壇が当たり前にある家庭で過ごしていました。

一九七三年にキリスト教信仰者の木村(主人)に出会いました。田舎育ちの私にはキリスト教は聞き馴れない事でした。両親はじめ親族は驚きです。でも結婚への反対はありませんでした。

初めていただいた聖句は、婚約式にマーガレット館の主事をされていたマリア小林鈴枝さんから頂いた祈祷書(詩

編)に手書きされていました。

婚約式から結婚式までの一年間、聖書の学びに月一度札幌へ(兄宅を宿に)通い、聖

マーガレット教会の牧師パウロ遠藤喬司祭様にご指導を受けました。先生のお宅は、弓子夫人・直美ちゃん(当時小学三年生頃)の三人家族でした。

遠藤司祭様は、私が札幌へ行く日を聞き、必ず電話をくださいました。「洗礼準備の学びのため、教会にいらっしやい。」この勧めがなかったら、教会に繋がる機会を失くしたかもしれません。遠藤司祭様からの「教会にいらっしやい」は印象に残っています、とてもよく心に沁み入ります。

娘が誕生したとき、直美

ちゃんから頂いた絵とお手紙は、コウノトリさんが赤ちゃんを運んでくださったとの喜びの絵とお手紙でした。そしてご自分の大切にしていた熊のぬいぐるみもプレゼントしてくださり、それは今も我が家に大事に保管しています。自分の大切なものを惜しまず贈ること、それは教会の聖書の中で教えました。感謝です。

牧師パウロ吉川孝司祭様が紋別聖マリア教会に勤務されていた頃、その礼拝に出席した時のことです。札幌の教会では、大勢の信徒さんがいるのが普通の事と聞いていました。でも紋別での礼拝は吉川司祭様と私たち夫婦だけ。先生の声が礼拝堂の隅々まで響いていました。聖歌を歌いながら退堂された後、先生の姿が見えなくなるころ、私と主人の声は小さくて届いていませんでした。司祭様の姿勢に感動と感謝でいっぱいになりました。

その時の聖歌は季節的なこ

ともあって「聖歌二二三番

実のれる田の面」です。この季節になると吉川司祭様の歌声が、私の心に響きます。ある教会のご高齡のご婦人が、聖書くらい楽しい本はありません、と話しているのを聞きました。素晴らしいです。私もそう思えるように努力し、近づきたいと願っています。



公 示

救主降生2022年10月18日
日本聖公会北海道教区
主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴

神のお許しがあれば、聖職按手式を下記の通り執行し、
聖職候補生 エリサベト 三浦 千晴を
公会の執事に叙任いたします。
主にある諸教会の代禱、及び主にある神の家族のご臨証をお願いいたします。

記

日時 2022年11月23日(水・休)
午前8時
場所 日本聖公会北海道教区
主教座聖堂札幌キリスト教会
札幌市北区北8条西6丁目

説教 司祭 パウロ 佐々木道人
式典長 司祭 ヘレン 木村 タ子
祭色 「赤」を用います。
なお、この聖職按手式は、教区会聖餐式の中で行われます。

公 示

救主降生2022年10月1日
日本聖公会北海道教区教区会議長
主教 マリア・グレイス 笹森 田鶴

日本聖公会北海道教区第82(定期)教区会を下記のように招集いたします。

記

日時 2022年11月22日(火)
午後3時より
11月23日(水・休)
午後3時まで

場所 日本聖公会北海道教区
主教座聖堂札幌キリスト教会
札幌市北区北8条西6丁目

なお、本教区会書記及び教区会計を下記のように指名いたします。

教区会書記
司 祭 ノア 上平 更
聖職候補生 エリサベト 三浦千晴
教区会計
財政部長 オーガスチン 橋本知樹

常置委員会報告

第一一回 九月五日

協議事項

一、笹森主教への講演依頼に関する件

・二月六日(金) 幼児教育セミナー(キリスト教保育連盟

北海道部会)の講演依頼を承認した

二、第八二(定期)教区会議

事日程に関する件

・十一月二日〜三日開催とする事を確認した。

・一日目に、議事に先だつて

宣教に関する協議会を持つことを確認しています。

その第一段階として、東北教区との常置委員懇談会にて今後どのようにこの課題を展開していくことができるか模索しています。また毎日函教区の教会や働きを覚えて折り合いながら過ごしています。



主教室から

主教按手式から五ヶ月を過ぎ、一〇月で主教巡回もようやく一巡いたしました。皆さまの暖かいお交わりに感謝しております。

按手式のご挨拶でお話させていただいたように、わたしたち北海道教区の大事な課題のひとつに、日本聖公会全体の福音宣教の活性化を目的とする教区再編ならびに宣教協働への取り組みがあります。

主教選出や伝道教区の選択に関わらず、それぞれの教区は教区再編・宣教協働に取り組むこととなっており、そして昨年北海道教区は、新主教と共にこの取り組みを重要課題とすること

ととした。

三、教区会への議案提出に関する件

・教区会に上程予定の議案提出について協議した。

四、教区基本財産の処分と取得について。

・聖ミカエル幼稚園舎改築

い道が与えられることに期待をしています。またその先の第二段階では、北関東教区・東京教区の皆さまとの東日本宣教協働区としての教区再編・宣教協働に取り組んでいくこととなります。教役者・信徒の皆さまのご意見をぜひお聞かせください。

この歩みを現在一緒にしている東北教区では、一月三日(木)、主教選挙のための臨時教区会を開催し、大事な時を迎えようとしています。主教選出の場に聖霊の働きが満ち溢れ、主の導きが与えられますことをひたすら祈ります。どうぞ皆さまも東北教区のために共に祈りください。

義 マツナグミ 笹森 田鶴

に伴い、牧師館、国際青年寮の基本財産を処分する事と、新たに牧師館を取得する事を承認し、教区会の議案とすることとした。

五、札幌聖ミカエル教会による募金について

・札幌聖ミカエル教会が牧師館を取得する事に伴い、同教会が募金事業を行う事を承認した。

六、稚内聖公会(伝道所)の建物に関する件

・建物の現状について報告を受け、急ぎ対処する必要がある事を確認。専門家による調査を行うこととした。

堅信式受領 おめでとう

函館聖ヨハネ教会

ヨハネ

水谷 文穂 (二〇月九日)

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

一月九日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 J・ウイリアムス

一九二〇年十一月一日

主教 W・アンデレス

一九三二年十一月一日

主教 前川 真二郎

一九五三年十一月一日

伝道師 A・M・エバンス

一九五一年十一月二日

執事 町田 巖

一九九七年十一月三日

執事 中西 弘

一九八九年十一月七日

伝道師 鈴木 雅彦

一九三三年十一月二日

伝道師 松本 ジョウ

一九七八年十一月四日

伝道師 ルーシー・ペイン

一九三二年十一月七日

伝道師 西田 喜一

一九六一年十一月八日

伝道師 M・ブラウンロー

一九二二年十一月九日

伝道師 渡辺 誠

一九四八年十一月九日

主教 G・J・ウォルシュ

一九七二年十一月九日

司祭 雨宮 大朔

二〇一五年十一月九日

執事 富田 恒躬

一九四〇年十一月二日

司祭 鈴木 善四郎

一九一八年十一月二六日

伝道師 A・M・タブソン

一九四〇年十一月二六日

「虹色のはこぶね」講演会・祈りの会報告

札幌キリスト教会信徒

ジャスティン 加藤 光

神はお造りになったすべて
のものを御覧になった。見よ、
それは極めて良かった。夕べ
があり、朝があった。第六の
日である。(創世記一・三二)

二〇二二年九月一七日(一
八日、さつぽろレインボー
プライド二〇二二(パレード
開催は一八日)が行われまし
た。私たち「虹色のはこぶね」
は、関連イベントとして札幌
キリスト教会で、九月九日に
日本基督教団牧師の堀江有里
先生をお迎えした講演会「奪
い取れー性的マイノリティの
尊厳と宣教の課題」を、九月
一六日に祈りの会を行いました。
「虹色のはこぶね」はす
べての人が「性(性的指向や
性自認など)」の多様性を尊



堀江有里先生

重し、共に学び合う場として
集まった日本聖公会北海道教
区の有志グループです。私た
ち自身や家族、友人などが性
のことで悲しんだり孤独に
なったりすることがないよう
に、この輪を広げていきたい
と願っています。講演会は会
場約三〇名、配信約六〇名、
そして祈りの会は会場一六
名、配信約二〇名という多く
の方々に参加されました。

講演会の中で堀江先生は教
会の課題について、異性を好
きになること前提の結婚観や
家族観を指摘されました。社
会には多様な人々が存在し、
出生時に割り当てられた性に
違和感を持つ人、同性を好き
になる人もいます。もちろん
教会の中にもいます。取りこ
ぼされる人がいないようにす
るためにたくさんのお話を投
げかけ、力強く愛に溢れたお
話をされました。

ところで私は学生時代にキ
リスト教を勉強した経験のあ

る、トランスジェンダーの男
性(生まれた時の性別は女性、
今は男性として生活してい
る)です。しかし聖書を読ん
だり礼拝に参加したりする上
で、自分を否定されたと感じ
た経験は一度もありません。

むしろ神は私にこのような個
性(多様性)を備えてお造り
になり、素晴らしいものとし、
愛しておられるのだというこ
とに疑いを持ったこともあり
ませんでした。もちろん聖書
の言葉を使って私たちを断罪
する人が少なくないことや、
様々な解釈から分断が生じて
いることも知っています。そ
れにもかかわらず、そういつ
た差別的言動にこれまで遭遇
したことがないのは、非常に
幸運なことです。

祈りの会の中で、笹森主教
は教会が多様性を当然のこと
として尊重し、変わっていく
ことを宣言されました。当
事者である私はお話を聞いて、
改めて仲間として歓迎されて
いると感じました。教会は私
の居場所の一つであり、私は
みなさんの隣人です。これか
ら、みなさんと共に過ごせ
ることを願っています。

道北四教会合同礼拝

司祭 クリストファー 永谷 亮

八月二八日(日)、今年も
道北四教会合同礼拝を稚内聖
公会(伝道所)で開催するこ
とができました。合同礼拝に
は笹森主教様の稚内への最初
の主教巡回ともなり、新主教
のもと一四名の参加者とも
に最北の地での教会に賛美と
感謝があふれました。礼拝が
終わると教会の窓の外には若
い牡鹿が草を食んでいるとい
う微笑ましい光景にも恵まれ
ました。

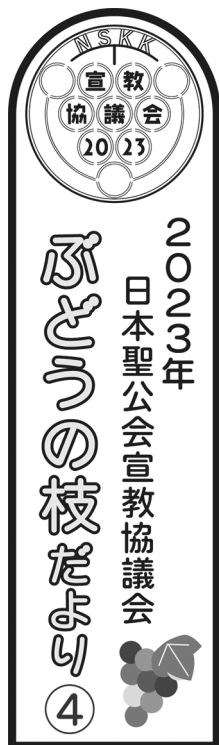
道北四教会合同礼拝といえ
ば、前日に道内各教会から参
加者が豊富温泉に集まって祈
りと学びのひとときがあり、
翌日は稚内で聖餐式をお捧げ
してきました。しかしコロナ
禍のための休止ののち、昨年
は植松主教様の司式のもと聖
餐式をお捧げする形で再開す
ることができました。まだ以
前のようなフルプログラムと
道内各教会への呼びかけはで
きませんでした。それでも

今年の前日の午後集合して
一斉清掃をし、夕方には笹森
主教様の主教アワーでランベ
ス会議の様子やご感想などを
お聞きすることができまし
た。

そして久しぶりに、感染症
対策に気をつけた上で、仕出
し弁当による夕食をともにい
たしました。

来年こそは、以前のような
フルプログラムでの実施がで
きたらと期待しています。例
年八月の最終主日に行ってい
ますので皆さまもどうぞ今か
らご予約ください。





第四回二〇二三年日本聖公会宣教協議会テーマ、主題聖句、「ぶどうの枝協議会」について

日本聖公会宣教協議会実行委員会です。今回は、宣教協議会のテーマと主題聖句について、また、「ぶどうの枝協議会」(八月二二日(月)―二三日(火))について報告させていただきます。

きないからである。」

(聖書協会共同訳)

テーマは、二〇二二年の宣教協議会「いのち、尊厳限らないもの」を引き継いでいます。また、本協議会で大切にしたいこととして「となりび」というキーワードをサブテーマとしました。これは、イエス様が「サマリア人のたとえ」で、「あなたの都合ではなく、あなたが、出会わされた人のとなりび」となることを求められました。「あなたが誰かの『となりび』になること」、それは、「相手の人が、あなたの『となりび』になること」でもありません。本協議会で、「あなたは誰のとなりびになりますか」という問いかけを深めていきたいと思います。

・二〇二三年日本聖公会宣教協議会テーマ、主題聖句について

「テーマ」「いのち、尊厳限らないもの」となりびとになるために」

「主題聖句」ヨハネによる福音書一五章五節

「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。私を離れては、あなたがたは何もで



主題聖句に込めた思いは、「まことのぶどうの木」であるイエス様とつながり、そこから伸びていく、様々なぶどうの枝の集まりが、宣教協議会のイメージです。そして、協議会に関わる一人ひとりが、「ぶどうの木」であるイエス様を通じて、「となりびと」になっていくことを願っています。

・「ぶどうの枝協議会」(拡大実行委員会) について

八月二二日(月)―二三日(火)、インマヌエル新生教会(東京教区)を会場に、武藤首座主教、各教区の宣教担当、管区の各諸委員の代表、矢萩総主事、卓宣教主事、実行委員によって開催されました。プログラムは、二二日(月)開会礼拝(聖餐式)を捧げ、磯主教(実行委員長)が説教をされました。礼拝に引き続き「ランベス会議報告」(西原主教)と実行委員による「宣

菊池 泰子(東京都西東京市)

教協議会実行委員会のこれまでの歩みの発題から始まり、その後、グループに分かれて分かち合いを行いました。午後は、「原発問題について」原発問題プロジェクトの長谷川清純司祭より発題、そして会場をお借りしたインマヌエル新生教会の誕生に関わるそれぞれの思いを牧師の卓司祭の司会によって三人の信徒方からお話を伺うことが出来ました。その後、グループの分かち合い、全体の分かち合いを続け、来年の宣教協議会のプログラムの内容について協議いたしました。短い日程ではありましたが、たくさん具体的なアイデア



が出され、協議会に向けてたくさんの方の「ぶどうの実」を頂き有意義な時でした。

10月中旬発売

聖公会手帳 2023年版

- ❖ 2023年度教会暦・日課表を完全収録
- ❖ 背表紙に銀文字で「日本聖公会」と明記
- ❖ 祈りの頁を大幅増補し、利便性を追求

大型判 2,200円【税込】
ポケット判 1,200円【税込】

お申込みは **バイブルハウス南青山** まで
(☎ 03-3567-1995)
※インターネットによる注文も可能





▽釧路聖パウロ教会
▽厚岸聖オーガスチン教会

(伝道所)

コロナ禍がまだ高止まりしていた九月。懸案だった頌栄保育園の駐車場擁壁復旧工事がいよいよ始まりました。

工期は一月末までの予定。その間、駐車場は一寸離れた旧東栄小学校の校庭を利用してもらうことに。予定通り工事が進みますように…。

一七日に津田家・八代家合同逝去者記念礼拝が実施され、二〇数名の方々がお集りになりました。遠く福岡や神戸から、またテノール歌手の方も…。車椅子で出席した津田正子姉も含めて印象的な礼拝になったと思います。墓地での祈りの際、ご遺族から釧路の信徒

に感謝の言葉が伝えられたそうです。

翌日の主日礼拝には八代家八名の方々、津田家では療養中の津田勉兄を含む四名の方々に参加され、盛大に。また、一九日には紫雲台墓地で花輪家の納骨式も行われました。

予報されていた台風一四号の影響は、思ったより少なく一大イベントは無事終了。主に感謝です。また、全てを執り行つてくださった吉野司祭様、本当にお疲れ様でした。

▽岩見沢聖十字教会

私達は月一回の聖餐式を待ち焦がれる。九月一八日、池田亨司祭よりパンと葡萄酒を授かる。主の流された血潮と肉の痛みを覚える記念の時。

一〇日、岩見沢スポーツセンターにて幼稚園運動会。昨年と比べて随分と制限が緩和されました。未就園では長谷川和奏ちゃんが参加。一競技のみですが楽しんでいました。

中旬、北海道教区施設職員

研修会が数年振りに旭川で開催。当園から菊地和子園長、小野佳代子教頭、高橋由香里主任が参加。研修と交流で多くの糧を得ました。

▽旭川聖マルコ教会

なかなか感染状況が落ち着かず、今月も歌わない礼拝続行です。

九日頌栄保育園は運動会。

晴天に恵まれました。一八日は敬老礼拝。人生の先輩方に記念品が贈られました。同日、かねてより療養中だったマリア古田富美絵さんが逝去され、二〇、二一日と通夜の祈り、葬送式が行われました。

二一、二二日は教区施設職員研修会の会場に。終了後、集會室には今年も日曜ごとのミニバザーコーナーが登場です。

来年のカレンダー予約が始まり、また季節が進んでいきます。

▽帯広聖公会

心地よい秋風を感じる季節になりました。

二日にアクラ山本正之さん、一九日にモニカ川田信子

さんが天に召されました。魂の平安とご家族に慰めがあり、ますようにお祈りいたします。

また、敬老の日に合わせて開催している「長寿を祝う会」が、今年もコロナ禍の影響で中止になりました。今はまだ施設への訪問にも制限があり、暫くお会い出来ていない方もいます。

忍耐しつつ良き交わりの回復を祈り、尽きることのない神様の愛に感謝します。

▽函館聖ヨハネ教会

九月の諸行事を感染対策しつつ心をこめて取り組みました。四日、礼拝後聖堂コンサート開催。約六〇名の方々がトランペットとピアノが醸すジャズの音色を楽しみました。一八日、聖ヨハネバザー開催。規模を縮小し食堂は開かず、食品類は全て持ち帰りとなりました。途中からの雨で早めに切り上げましたが、皆さんの協力に感謝。終了後の二四日午前、東京・香蘭女学校の修学旅行生の来訪。同校OGの丸山悦子さんの的を射

た函館、教会の歴史のお話に皆さん聴き入っていました。二五日、札幌より阿部芳克(退職)司祭が礼拝奉仕してください。感謝。藤井司祭も陪餐に与る。礼拝後ご夫妻を囲んで有志と昼食会。

▽紋別聖マリヤ教会

九月に入り、酪農の粗飼料デントコーンの収穫が始まり、畑で切り込んで牧場のバンカーサイロまでの往復で賑わっています。九月一日、笹森主教司式・越山司祭補式による聖餐式。幼稚園職員も出席されました。一二日、学園理事長として笹森理事長が紋別幼稚園を視察。この日は、「おみせやさんごっこ」が行われており、この御時世なかソーシャルディスタンス目安の足あとマーク、キャッシュユレス決済などの斬新なアイデアに圧巻されたようです。

▽平取聖公会

九月は笹森主教が二度平取にお見えになりました。一六日には、バチラー保育園の起工式に來られました。現在の

保育園そばの旧町立病院跡地に建設される現場で、主教司式、内海牧師補式で起工式が行われました。敷地内をヒソップの水を撒いて進まれる牧師に続いて、主教が詩編を読み上げるのに和して一同が続きました。年明けの完成まで高橋久美子園長のご苦労が続きます。お祈りください。

二九日には昨年町立アイヌ博物館で開催された「宣教師ジョン・バチラー展」の記録を見に来られました。

一〇月最後の礼拝は「収穫感謝礼拝」、十一月第一週は「逝去者記念礼拝」です。

▽札幌キリスト教会

九月三日、四回目となる日曜学校同窓会では、道内外からオンライン参加を含め一二名が旧交を温めました。四日、全逝去者記念礼拝の後に墓地礼拝と納骨式が行われ、

約五〇名が祈りの時を共にしました。九日、日本基督教団牧師の堀江有里さんによる講演会を開催。性的少数者の尊厳と宣教の課題についてお話しされました。一日は聖餐

式にて高齢の方のための祝福のお祈りをお捧げしました。一九日のバザーは台風の影響で途中より雨に見舞われましたが、多くの方がお越し下さり、三年振りの開催を楽しみました。

▽新札幌聖ニコラス教会

垣根の蔦が秋の色に変わりはじめました。三〇周年を迎えるにあたって教会の屋根や壁の点検などを終えて冬の支度を開始。掲示板の銘板も塗り直しが終わり、改めてこの地での宣教の場として知って

いただきたいと願っています。教会内ではコロナ禍が続く中、小さなバザーを続けています。二九日には三年ぶりに当教会を会場にギターコンサートが開かれ、地域の人たちを教会に迎える機会を得られたことに感謝。

▽札幌聖ミカエル教会

九月一日、信徒である横山弥生さんのコンサートを行う。これまでも聖歌隊の一員としてご活躍でしたが、礼拝堂と一体感のあるソロの歌声の清らかさに多くの聴衆から

感動の声が上がりました。今年、新園舎が与えられた聖ミカエル幼稚園は、一九日、関係者約九〇名が集まり、笹森主教の司式により竣工感謝礼拝を行う。子どもたちの豊かな成長の場となりますように。二五日、二年間休止していたバザーを教会内向けに園庭にて開催、今後の本格開催に向けて手応えを感じる。

一〇日、アンデレ木島隆さん、一三日、大澤房江さん、相次いでご逝去。魂の上に主のみ光と平安がありますように。

▽聖マーガレット教会

晴天の中、九月四日三年振りに墓地礼拝と佐藤雅之助さんの納骨が行われ、午前には笹森主教様司式・説教による逝去者記念礼拝。一八日は下澤司祭による信仰の先輩と子どもの祝福礼拝が行われ、コロナの影響で教会に来ることができなかつた方や成長した

二名の中学生の出席で、礼拝堂に笑顔が溢れていました。午後は川北キヌさん・千田忍さんを訪問。三〇日は業者による木の伐採と共に婦人会を

中心に教会内の大掃除を行いました。今年もバザーは中止になりましたが、少しづつ確実に進んでいます。

九月二五日、笹森田鶴主教様に、初めての巡回をいただき。沼原健二さんも札幌より同行くださり、共に聖餐式をお捧げしました。礼拝の後、出席者皆で記念撮影をしました。お茶の時間を共にしながら、自己紹介をしたりして交わりを温めました。その後、主教様方には、二階のバチラー夫妻記念室を見学いただきました。また、一〇月一日に予定されている教会バザーに向けて、準備がスタート。各自が、市内各所へのポスターの掲示や、チラシの配布を分担しました。

▽留萌キリスト教会

山の木の葉がほんのりと変化を見せ始めた九月。千葉雅子さんは、老健施設の方々へ贈るため手編みの靴下を製作中で、目標数は五〇足とか。ある日、腰を痛めて杖をついて来た藤井法さんに

向かってご自分の杖を高く上げ、大きな声で「杖同士、一緒に頑張りましょうね!」と励ましてくださいました。

婦人会会計係の藤井妙子さんは、会員から三つの献金箱を回収して送金の準備を始められています。教会は屋根の塗装工事が終了し、大きな支払いも無事完了しました。

九月四日(日)、聖霊降臨後第一三主日。九月の教会委員会を行う。二〇二三年度教区から提示された奉献額について協議する。

▽小樽聖公会

九月九日(金)。東京からキリスト教ラジオ放送局の取材を受ける。コロナ禍において、諸教派・諸教会の労苦を聞き、北海道教区の聖公会の取り組み、経験を話す。

九月は、ことに連休において聖堂見学を希望する方、多数。水天宮の参道という立地に、十字架の立つ聖堂をおもしろがる。

▽稚内聖公会(伝道所) 九月二六日、木村司祭が聖餐式の司式・説教を担当しま

した。本原満栄さんは元気に出席くださり、共に聖餐のお恵みを分かち合いました。東京に暮らす三番目の娘さん夫婦が稚内に来る計画がある事、来年の春にはお孫さんの結婚式のために飛行機で東京・埼玉方面へ出かける予定がある事を、大変喜ばしくお聞きしました。元気のあるうちは、教会の礼拝に出席したいとおっしゃるその望みが、これからも大切に守られるようにと願っています。

▽苫小牧聖ルカ教会

九月に入り、一日の寒暖の差を感じ、例年とは異なる季節の変化に戸惑っております。

礼拝用書等の使用は、暫くは様子を見る事に決まりました。

祈禱書の学びが月一度(平日)の予定で行われる事になりました。集い、学ぶ機会が与えられ、感謝です。

二五日、松井牧師、主教巡回に伴い室蘭聖マタイ教会礼拝奉仕のため、糸田信徒奉事

者による「み言葉の礼拝」。新しいホームページが完成する予定です。とても楽しみにしております。

▽室蘭聖マタイ教会

九月一日、苫小牧の松井司祭が来会し聖餐を受ける。

この日、さいたま市の大宮聖愛教会員の石戸谷さんが出張の折りに来られ、共に祈り、感謝のひと時でした。

七日二時より松井司祭が見えて、「ヨブ記」の輪読会。「主は与え、主は奪う」この言葉はより深い忠告でした。

二五日、松井司祭と笹森田鶴新主教と御主人の沼原健二氏が共に来会。聖餐を受ける。礼拝が終わってから昼食を共にしました。主様のおかげで誕生日とのことで大きなケーキを皆で美味しくいただきました。感謝。

▽今金インマヌエル教会

九月は二一日と、二五日、先月同様、上平司祭、大町司祭をお迎えして礼拝を守りました。大町司祭は当日三か所目の礼拝です、と疲れも見せず笑顔で話してくださいまし

た。遠路の移動や夜道の帰路を主がお守りくださいますよう、信徒で祈っております。

今金町の九月は収穫の最盛期です。先月の記録的な大雨災害の影響で出荷できなくなった作物も多い中、今金男しゃくをはじめ、収穫された農作物を日々手にし味わえる事に、農業従事者の皆さんと主を覚え、心から感謝したいです。

▽北見聖ヤコブ教会

ガブリエル岡嘉彦さんの逝去者記念の式を九月七日に行い、終了後直ちに納骨式が行われました。

主教巡回礼拝は一八日午後二時から。礼拝後は共に葡萄の収穫。とても甘く実りました。笹森主教様ご夫妻をお囲みしての親睦の時は、茶菓と葡萄のあたたかなお交わりで、イタリア民謡も飛び出しました。笹森主教様、これからもよろしく願っています。

司祭は北見牧師会やYMC Aでご奉仕。火災保険の継続手続きもいたしました。葡萄

はお隣り様にもお持ちしました。

▽新冠聖フランシス教会

生い茂る木々の中、赤い屋根の上に十字架が覗く新冠聖フランシス教会。この静かな環境の中で聖餐の恵みに与り、主のみ言葉にふれ、共々二週間の無事を確かめ合い、元気をいただいております。

九月二五日の礼拝には奥田貞子さんとご子息の光信さんがみえて、教会の納骨室に安置されていたご主人「康嘉さんとご遺族」のご遺骨を伴って、皆さまにお別れをされました。

教会の広い敷地内と駐車スペースの除草にいつもご奉仕くださる山田彰さんに感謝!

▽深川聖三一教会

九月三日、深川あけぼの保育園第五〇回運動会、時間短縮で無事終了、感謝。二一日、境内の草刈り、有志より差し入れあり、一同感謝す。一五日、道北分区分会、主様陪席す。一八日、越山健蔵司祭補式の礼拝奉仕す。臨時委員会開催、明年度の教区への

奉献額について相談決定す。二一日〜二二日、旭川聖マルコ教会での北海道教区施設職員研修会に園長、馬場絢女保育士、甲斐チャプレン参加す。保育園真横にフランス料理店開店で、なにかと話題になって半年です。

▽網走聖ペテロ教会

収穫された米、野菜を見ながら秋の恵みを感じます。一八日、笹森主教様は初めての巡回で網走に来られました。一緒に来られた御主人様と共に礼拝を献げ、昼食を食べ、主様のランベス会議でのお話に耳を傾けました。小さな群れの中にも主がおられ、私達の心が喜びに満たされた日でした。

教会の屋根や窓わく、ドアの修繕工事が二六日から始まりました。業者の方々の安全を祈りつつ、教会の修繕の完成を楽しみにしています。一人一人の心の内にも豊かな祝福がありますように。